



那覇市立教育研究所 所報

第10号

平成31年1月4日発行

所長 平安山 敏和



一一一期 研究員の研究紹介

所長 平安山 敏和

明けましておめでとうございます。平成三十一年・亥（いのしし）年がスタートしました。亥年生まれの特徴は、猪突猛進型で忍耐力・向上心があると言われています。教育研究所も、教育に関する調査・研究を通して、市内各校の特徴や現状を捉え、各研修・講座、情報教育環境整備の充実・向上に向けて取り組んでまいります。今年も教育研究所事業等への御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、後期研究員（一一一期）も残り半期になり、検証授業を終了した四人の研究員は、研究のまとめに取りかかっております。三月には、研究発表と研究報告書のWebページ掲載を行う予定ですので各学校の授業改善に役立てて頂ければと存じます。一一一期研究員の研究テーマ・研究目標は、次のとおりです。

仲地 吉野 研究員（真和志幼稚園）

【研究テーマ】

幼児の表現する意欲を育てるための環境構成と援助の工夫

【研究目標】

「友達とイメージを共有する遊び」を通して、幼児が自分なりの表現を楽しみ友達とイメージを共有する遊びを通して、表現する意欲を育てるための教師の幼児理解に基づいた環境構成と援助の工夫について実践研究する。

下地 達也 研究員（城南小学校）

【研究テーマ】

他者との対話によって考えを深める児童の育成

【研究目標】

思考過程の可視化と交流活動の工夫を通して、他者との対話によって考えを深める児童を育成するために、思考過程の可視化と交流活動の工夫を行い、その有効性について検証する。

狩俣 一史 研究員（若狭小学校）

【研究テーマ】

道徳的価値の理解を深め自分のこととして捉える道徳科授業の工夫

【研究目標】

児童が道徳的価値の理解を深め自分の生き方とつながりながら考えるように、道徳科の授業において深い道徳的価値を想定したねらいを設定し、道徳的思考を促し多様な感じ方や考え方が引き出される発問の工夫を行い、実践的に研究する。

赤嶺 美奈子 研究員（安岡中学校）

【研究テーマ】

歴史的な見方・考え方を働かせた「思考力、判断力、表現力」の育成

【研究目標】

単元やまとまりを見通した「問い」の設定と対話的な活動の工夫を通して、歴史的な見方・考え方を働かせた「思考力、判断力、表現力」の育成のため単元やまとまりを見通した「問い」を引き出し、対話的な活動と学習のつながりを意識した振り返りを行うことで、その手立てについての有効性を検証する。

1月の教育研究所事業予定

24日（木）第14回 初任者研修【特別支援学校見学】

31日（木）第5回 情報教育研修会

新刊のお知らせ



書 名	著 者
授業の見方―「主体的・対話的で深い学び」の授業改善	澤井陽介 著
見方・考え方「国語科編」	中村和弘 編著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 1 学習指導要領全面実施までのロードマップ	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 2 「社会に開かれた教育課程」のマネジメント	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 3 Q&A 新教育課程を創る管理職の条件	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 4 スクールリーダーのあり方・生き方	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 5 若手が育つ学校 ～ 学校の人材開発 ～	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 6 シリーズ・授業を変える1 今求められる授業の基礎技術	ぎょうせい 著
リーダーズ・ライブラリ Vol. 7 シリーズ・授業を変える2 「問い」を起点にした授業づくり	ぎょうせい 著

111期研究員・検証授業

仲地吉野研究員（真和志幼稚園）

遊びを通して友達とイメージを共有し互いに表現し合うことで、新たな表現方法の幅を広げさせる取組を行いました。



赤嶺美奈子研究員（安岡中）

「倭はどのように形成されたか」という問いに対し各エキスパート課題から考えた「見出し」をもとに活発に話し合っていました。



下地達也研究員（城南小）

登場人物の心情の読み取りや、表現の工夫について、友達と対話しながら「心に残る」とっておきの文章」としてまとめました。



狩俣一史研究員（若狭小）

「集団の中で役割を果たす」ことについて、子供たちは、これまでの自分自身の経験を踏まえ、考えを深めていました。

